

全苗連だより

Vol. 41 (12月号)

平成29年12月27日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

平成30年度林野庁予算の概算決定の概要

「林業・木材産業成長産業化促進対策」でコンテナ苗生産施設の 整備など引き続き助成

政府は12月22日の閣議で、平成30年度予算について概算決定しました。林野庁予算の概要をお知らせします。まず公共事業については、森林整備事業予算が一般会計で120,313百万円(対前年度比100.0%)となっています。

我が国の人工林は本格的な利用期を迎えており、この豊富な森林資源を循環利用し、木材の安定供給体制を構築し、地球温暖化防止対策としての森林吸収量3.5%の確保等森林の公益的機能を発揮させるため、間伐や路網整備、**主伐後の再造林**等を推進することになります。

次に、非公共事業ですが、苗木に係る事業をピックアップしてみます。種穂の確保、苗木の生産技術及び生産効率の向上、地域的な過不足が生じやすい需給のマッチングなど、各段階における課題を解決し、優良な種苗を低コストかつ安定的に供給するための体制を構築することが重要です。そのために、「優良種苗低コスト生産推進事業」を今年度の苗木安定供給推進事業を拡充して推進することとしています。

【優良種苗低コスト生産推進事業（拡充）】【概算決定額 142,155(115,884)千円】

<内容>

(1) 優良種穂の確保

① 指定採取源の拡大

都道府県が新たに指定採取源を指定するために行う遺伝子調査(花粉症対策苗木により造成された造林地等が対象)に対して支援。

② エリートツリー等の原種増産技術の開発

優良な種苗を生産するため、採種園等を造成するための原種苗木の増産技術の開発と、その指導及び普及に対して支援。

③ 採種園等の造成・改良

a 苗木生産を目的とした採種園等の造成・改良に対して支援。

b 認定特定増殖事業者等による都道府県域を越えた種穂の広域供給のための採種園等の造成・改良等モデル的な取組に対して支援。

④ 採種園の再活用等

利用されていない採種園の再活用や人工造林地を穂木の採取源として活用するための条件整備を実施。

(2) 優良苗木の供給拡大

① 新たな苗木生産技術の実証

国有林において、生産期間の大幅な短縮が期待できる当年生苗の導入に向けた植栽の実証を実施。

② 苗木生産技術の向上等

日々進展の著しいコンテナ苗の生産・利用に関する技術研修、巡回指導、地域的な変動が生じやすい種苗の需給情報を共有する取組に対して支援。

<補助率等> (1) ①②定額 ③a:1/2 b:定額 ④直轄 (2) ①直轄 ②定額

<事業実施主体> 国、都道府県、認定特定増殖事業者、事業協同組合、森林組合、民間団体等

<事業実施期間> 平成 30 年度～平成 34 年度

続いて、**苗木生産施設等の整備**に係る予算措置は、「**林業成長産業化総合対策**」に盛り込まれました。戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を図ることが重要ですが、一方、我が国の森林経営は小規模・零細であり、経営の基盤となる路網整備は十分でなく、木材の生産から加工流通まで多段階でコストが高いという課題を抱えています。このため、意欲と能力のある経営体に森林の経営・管理を集積・集約するとともに、川上から川下までが連携して生産・加工・流通コストの一体的な削減を図っていくこと等が必要であることを背景にした事業です。対策のポイントは「新たな森林管理システム」の下で、意欲と能力のある経営体に森林の経営・管理を集積・集約化することとし、路網整備・機械導入を重点実施するほか、**主伐・再造林の一貫作業**、川下との連携による木材の安定供給の推進、川上と連携した加工施設整備、非住宅分野等でのJAS無垢材やCLTの利用拡大など、川上から川下までが連携した取組を総合的に支援することとなっています。

【林業成長産業化総合対策】【概算決定額 23,470(-)百万円】

【1. 林業・木材産業成長産業化促進対策】 【概算決定額 12,290(-)百万円】

意欲と能力のある経営体への集積・集約化が見込まれる、資源豊富な人工林等に対して路網整備や機械導入を重点的に実施し、連携する川下への木材の安定供給を図るほか、**主伐・再造林の一貫作業**、木材製品の安定的・効率的な供給に川上と連携して取り組む木材加工流通施設の整備等を通じ、森林資源の高度利用と生産・加工・流通コストの一体的な削減を図ります。

(1) 持続的林業確立対策

路網整備

高性能林業機械導入

搬出間伐の推進

資源高度利用型施業

コンテナ苗生産基盤施設等整備

・造林のコスト削減に資するコンテナ苗の安定供給

意欲と能力のある経営体の育成

森林整備地域活動支援交付金等

林業成長産業化地域保全対策事業

(2) 木材産業等競争力強化対策

(3) 林業成長産業化地域創出モデル事業

【2. 森林整備事業(路網)関連分】【概算決定額 8,000(-)百万円】

【3. 川上・川下連携による成長産業化支援対策】【概算決定額 2,481(-)百万円】

【4. 林業・木材産業金融対策】【概算決定額 698(-)百万円】

< 交付率 > 交付率等; 定額(1/2、1/3以内等)、委託、直轄

< 事業実施主体 > 国、都道府県、市町村、森林組合、林業者等の組織する団体、木材関連業者等の組織する団体、森林整備法人等

第4回全苗連生産者の集いの日程が決まりました

第4回(平成30年)全苗連生産者の集いは岡山県で開催されます。開催日時及び会場が以下のとおり決まりましたのでお知らせします。

- 1 日時 平成30年9月6日(木) 13:30 ~ 16:00 (予定)
- 2 会場 岡山コンベンションセンター
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14番1号
TEL086-214-1000 (代)
- 3 現地視察等 9月7日(金)(調整中)

今年の福岡、昨年の静岡、一昨年の北海道開催に続き、4回目の開催となります。岡山で盛り上がりましょう。

なお、出欠等のご案内は来春行います。

全苗連・苗組の行事予定

- ～H30.3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会 ②コンテナ苗生産新規参入者を対象とした研修会 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導等 実施者; 該当道県苗組
- 1月4日 林業関係団体等新年賀詞交換会(三会堂ビル)
 - 1月17日 北海道東北地区コンテナ苗生産技術を考える研修会(岩手県花巻市)
～18日
 - 1月23日 国産材の安定供給体制の構築に向けた中央需給連絡協議会(林友ビル)
 - 2月14日 関東地区林業用種苗需給調整協議会(群馬県)
 - 2月16日 林木育種事業発足60周年記念行事(森林総合研究所林木育種センター)
 - 3月23日 第36回林業退職金共済事業関係運営委員会
 - 9月6日 全苗連生産者の集い(岡山コンベンションセンター)
～7日